Pray for Peace

2021年度パルシステム東京平和活動レポート

わたしたちは、ともに、
くらし、つくる、
平和な未来に向けて

PEACE

JAPAN'S SDGS AWARD 2017
第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

パルシステム東京では、組合員とともに平和活動を推進していきます。

笑顔でピンチを乗り切ろう！

2021年度は、平和を支える人たちとの輪が広がった年でした。核兵器廃絶を掲げ主体的に活動する若者たちとの連携、そして2000年から韓国・高陽坡州（コヤンパジュ）ドゥレ生協との草の根交流を行ってきた中で生まれた折り鶴の交流など、世代を超えて、地域を超えて、つながりが進化しました。

一方、先の大戦から77年、平和な未来へ向けた核廃絶への流れができてきた矢先に起きたロシア軍によるウクライナ侵攻、ミャンマー軍による市民への弾圧など、平和が脅かされています。

今こそ、平和のアクションを一人ひとりが緩やかに広げるときです。課題を話し合う、「こんな世界ができるといいね」と語り合う、発信する、そして未来を諦めない！　その時に必要なのは「笑顔」です。

笑顔に笑顔を返しながらつながって、ともに乗り越えましょう。

生活協同組合パルシステム東京　理事長　　松 野 玲 子

韓国・高陽坡州（コヤンパジュ）ドゥレ生協・平和の折り鶴交流

韓国の高陽坡州（コヤンパジュ）ドゥレ生協はソウル市の北西の高陽（コヤン）市と坡州（パジュ）市にある生協です。パルシステム東京とは2001年から交流が始まり、両生協の組合員が交互に訪韓、来日し、交流を続けてきました。

ドゥレ生協との交流の歴史は
こちらからご覧いただけます

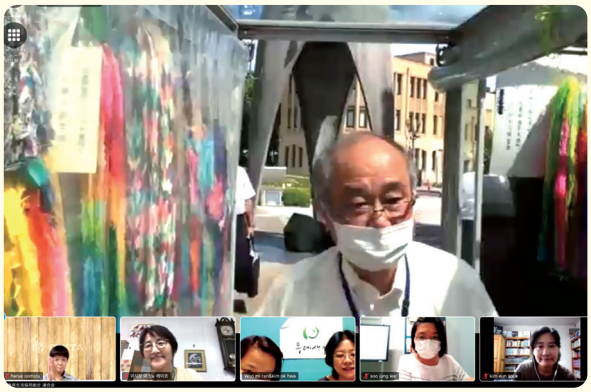
https://www.palsystem-tokyo.coop/report/60646/

2021年度は、両国の組合員・役職員が折り鶴を作り、広島市平和記念公園の慰霊碑に献納することを通じて交流しました。
コロナ禍による行動制限で現地訪問は断念しましたが、韓国・広島（平和記念公園）・東京をオンラインで中継し、核なき平和な世界の実現に向けて両理事長がメッセージを交換しました。

オンラインで交流をしたドゥレ生協のウミラン理事長

韓国人原爆犠牲者慰霊碑

ドゥレ生協から託された千羽鶴を手にしたパルシステム東京の理事会の記念写真



広島県生協連の協力で千羽鶴を献納する様子（オンライン）

学ぶ

平和を学び、考えるきっかけの場づくりをオンラインで広げました。参加感を高めるためにクイズや投票などを取り入れ、主体的に活動する学生など若い世代の活躍を紹介しながら、次世代につなげる様々な平和企画を開催しました。

オンライン学習会

■キッチンで学ぶ・こころのレシピ　2021年5月22日(土)

イラン出身の俳優サヘル・ローズ氏と、国際協力NGO団体JIM－NETスタッフの斉藤亮平氏が、イランとイラク、互いの国の料理を作りながら文化や現地で見聞きし、感じたことを語っていただきました。「中東って怖いところ、と思っている人もいるみたいだけど、お料理などから親しみを感じてもらえるといいな」と話すサヘルさん。斉藤さんは「教科書も、中東については戦争記述がほとんど。でも人々は温かい。だから大好きなんだ」と語ります。参加者から寄せられた質問にも丁寧に答えてくださいました。

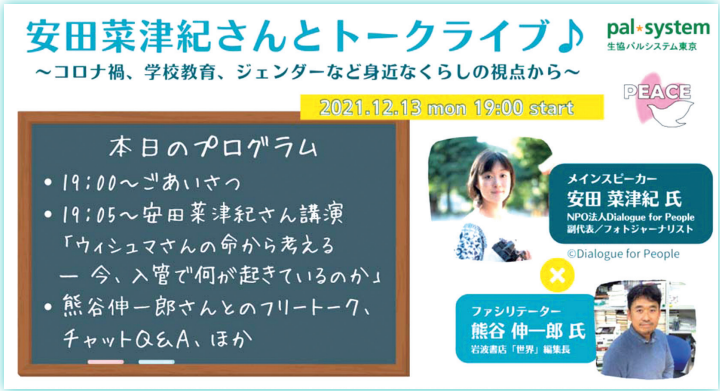
■出口の見えない難民問題の今　2021年7月23日(金･祝)

難民支援に取り組むNGO３団体を講師に、学生らとのトークセッションを交えた企画。「中長期にわたる支援では、大人には仕事、子どもには教育が必要」と語る「国連UNHCR協会」の天沼 耕平氏。「平和カンパ」贈呈先であるパレスチナ・ガザ地区で支援活動する「パレスチナ子どものキャンペーン」とタイ国境難民キャンプ（ビルマ難民）で支援活動を行う「シャンティ国際ボランティア会」の２団体が、難民となる背景と現状を共有しました。

詳しくはこちら→ https://www.palsystem-tokyo.coop/report/60460/

■安田菜津紀さんとトークライブ　2021年12月13日(月)

フォトジャーナリストの安田菜津紀氏を講師に迎え「ウィシュマさんの命を考える－今、入管で何が起きているのか」と題して、入管施設で亡くなられた外国人女性に関する取材活動を紹介。フリートークでは岩波書店「世界」編集長・熊谷伸一郎氏とともに、ネットでの誹謗中傷、校則などの身近な話題から「人権」、「憲法」について語り合いました。開催前には、参加者から寄せられた「これって変！」「制限されすぎ？私の人権」投稿をご紹介。トークの中でも取り上げられました。



■トークライブ「いっぱい未来の話、しよう」　2022年2月19日(土)

太平洋戦争下で実際にあった「F研究」と呼ばれる“日本の原爆開発”。その事実を基に、時代に翻弄されながら全力で駆け抜けた若者たちの、等身大の姿を描いた青春群像物語、映画「太陽の子」。黒崎監督と森プロデューサーが映画に込められた願いや、映画制作の裏側を話した後、核廃絶活動に取り組む学生やユース世代の人たちと「未来」に向かうためのトークライブを行いました。

詳しくはこちら→ https://www.palsystem-tokyo.coop/detail/72818/

つながる

平和な世界を目指し、国内外で活動する他団体との連帯活動に取り組んでいます。

平和カンパ

「シェア＝国際保健協力市民の会」は、すべての人が心身ともに健康に暮らせる社会を目指し活動しています。
Ⓒシェア＝国際保健協会市民の会

組合員が７つのNGO団体からカンパ先を選び、紛争や貧困、飢餓、難病などの厳しい状況にある世界の子どもたちを支援します。2021年度は1,085万3,456円のカンパ金が寄せられました。

詳しくはこちら→ https://www.palsystem-tokyo.coop/report/62006/

パレスチナ子どものキャンペーン	パレスチナ・ガザの児童館支援
JIM－NET	イラク共和国クルド自治区　小児がん患者、患者家族、貧困患者家族への医療支援
シェア＝国際保健協力市民の会	カンボジアにて、子どもと妊産婦の栄養改善プロジェクト
シャンティ国際ボランティア会	ミャンマー（ビルマ）難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じた教育支援
チェルノブイリ子ども基金	ベラルーシ、ウクライナにてチェルノブイリ原発事故被災者に医療支援
ペシャワール会	アフガニスタンで農業復興支援事業
AAR Japan［難民を助ける会］	トルコのシリア難民へ栄養改善プロジェクト

書き損じハガキ等回収キャンペーン

切手や書き損じはがきなど、不用品を寄付し、団体を応援する活動。2021年度の換金額は1,843万3,350円となりました。

詳しくはこちら→ https://www.palsystem-tokyo.coop/report/62036/

ハンガー・フリー・ワールド	ベナン、ブルキナファソ、ウガンダ、バングラデシュなどで食糧支援
シャプラニール＝市民による海外協力の会	バングラデシュで家事使用人として働く少女のための支援センターを運営
日本国際ボランティアセンター	南アフリカの農村で貧困家庭向けの「子どもケアセンター」を支援

「日本国際ボランティアセンター」は南アフリカで、HIV/エイズで親を失った子どもたちへの心のケアや自立に向けて支援しています。Ⓒ日本国際ボランティアセンター

多くの組合員が送った寄付品の数々（切手やハガキ等）。仕分け作業のボランティア体験企画も開催しました。

行動する

平和について学び、考え、行動するための平和活動に取り組んでいます。

組合員による平和活動

国際協力を学ぶ「ピースカフェ」や、都内の身近な場所で戦争を学ぶ「戦跡フィールドワーク」、「憲法を学ぶ憲法カフェ」など、組合員が主催する平和活動がたくさんあります。

組合員が主催した戦跡フィールドワーク
「旧日立航空機立川工場変電所コース」

東京下町戦跡めぐり　～東京大空襲を知ろう～

都内の身近な戦跡をめぐり、平和について考えるフィールドワーク。江東区内の東京大空襲の痕跡が残る場所を巡り、「東京大空襲・戦災資料センター」で戦争体験者から空襲下のお話を聞くハイブリット企画を開催しました。

小名木川沿いを歩く参加者。空襲後、川には死体があふれていたという。

東京大空襲の体験を語る二瓶治代さん

詳しくはこちら→ https://www.palsystem-tokyo.coop/report/66887/

参加する

署名活動

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めるオンライン署名」に取り組み、2,544筆が寄せられました。署名の主催団体「日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）」を通じて内閣総理大臣に提出しました。

平和・核廃絶に向けたフォーラム

パルシステム連合会と、ピースボートの共催。ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）国際運営委員の川崎哲氏による基調講演のあと、3つのテーマに分かれたセッションを行い、国内外で活躍する登壇者が、それぞれの経験から見えた核廃絶運動の現状や問題意識を紹介し「私たちが出来ること」を考えました。

詳しくはこちら→ https://www.pal-system.co.jp/about/peace/

開催日	企画名・内容	参加人数 （内訳：組合員参加）
2021年1月～5月	国際協力NGO3団体の「書き損じハガキ等回収キャンペーン」を実施 ハンガー・フリー・ワールド　寄付件数3,293件／換金額635万6,002円 シャプラニール＝市民による海外協力の会　寄付件数3,032件／換金額669万5,145円 日本国際ボランティアセンター（JVC）　寄付件数2,108件／換金額538万2,203円	合計寄付件数8,433件／換金額1,843万3,350円
5月22日	＃未来へつなげ2030　キックオフイベント「キッチンで学ぶ・こころのレシピ」 サヘル・ローズ氏×JIM‐NET（平和カンパ団体）【オンライン】	524名
5月23日	ピースアクション in TOKYO【オンライン】 講演会：中村桂子氏（長崎大学核兵器廃絶研究センター）　広島・長崎市長からのメッセージ他	98名
6月1日～30日	児童労働ネットワークの「児童労働にレッドカード!～おうちでレッドカートアクション!～」に賛同、SNSやWEBでの投稿・掲載を呼びかけ	
6月28日	「パルシステム東京平和活動レポート（2020年度）Pray for Peace」をweb発行	
6月26日、7月1日	組合員にボランティアを募集し、「書き損じハガキ等回収キャンペーン」にて回収した切手の仕分け体験 協力：①シャプラニール＝市民による海外協力の会、②日本国際ボランティアセンター	①10名/②4名
7月	パレスチナ・ガザ地区の空爆被害への人道支援のため、国際協力NGO４団体へ80万円の緊急支援カンパ（組織カンパ）を実施	
7月23日	＃未来へつなげ2030「出口の見えない難民問題の今」難民支援に取り組むNGO３団体を講師に、学生らとのトークセッションも交えたオンライン学習会を開催【オンライン】	167名
7月5日～8月6日	平和カンパ　組合員から寄せられたカンパ　総額1,085万3,456円を国際協力NGO等７団体に贈呈	
8月6日	「日韓生協折り鶴交流」を開催。韓国・高陽坡州ドゥレ生協とパルシステム東京の組合員・役職員が作成した折り鶴を広島の平和公園内にある「韓国人原爆犠牲者慰霊碑」と「原爆の子の像」へ献納。日韓オンライン中継でともに黙とうをささげた。	ドゥレ生協６名、広島県生協連１名、パルシステム東京役職員８名、通訳１名
8月4日～5日 8月7日～8日	2021ピースアクションinヒロシマ／主催：日本生協連、広島県生協連、「被爆の証言・サダコと折り鶴の話」、「デジタルアーカイブ等を活用した継承学習会」、「石原さんに聴く被爆の証言」、「被爆詩の朗読会」、「オンライン碑めぐり」、「被爆体験伝承講話」、「虹のひろば」【オンライン】 2021ピースアクションinナガサキ／主催：日本生協連、長崎県生協連「平和の紙芝居」、「被爆の証言①・②」、「家族・交流証言者による講和」、「被爆体験記の朗読会」、「虹のひろば」【オンライン】	全国95の生活協同組合からのべ6500名
6月7日～8月31日	「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」への賛同を呼びかけ、2,544筆（内訳：オンライン2420筆／署名用紙124筆（32枚）を日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）」に提出	
10月	令和3年8月豪雨の被災地で緊急支援を行う２団体へ60万円の緊急支援カンパ（組織カンパ）を実施	
10月3日	「原爆犠牲者慰霊碑への代表献花」及び「原爆犠牲者追悼のつどい」に役職員2名を派遣	
10月23日	東京下町戦跡めぐり～東京大空襲を知ろう～　江東区の戦跡フィールドワークと東京大空襲・戦災資料センターで戦争体験者のお話を聞く企画を、現地開催とオンライン生中継で初めて開催	現地16名　オンライン26名 役職員含む
12月13日	安田菜津紀さんとトークライブ～コロナ禍、学校教育、ジェンダーなど身近な暮らしの視点から～【オンライン】	135名
2月4日	2021年度大規模災害緊急支援カンパの活動報告会　パレスチナ（ガザ地区）空爆被害【オンライン】	
2月4日	2021年度大規模災害緊急支援カンパの活動報告会　令和３年８月豪雨災害【オンライン】	
2月19日	＃未来へつなげ2030「映画 太陽の子」黒崎監督＆森プロデューサー ×「核廃絶」に取り組む学生・若者のトークライブ開催　講師：黒崎　博氏、森　コウ氏　企画協力：　カクワカ広島、KNOW　NUKES　TOKYO、ナガサキ・ユース代表団、Peace Caravan隊、高校生平和大使【オンライン】	116名
2月28日	全国生協の役職員、平和活動委員を対象に「ピースアクション2022キックオフ集会」を第五福竜丸展示館にて開催。 主催：日本生協連【オンライン】	41生協234名
3月4日	ロシア大使館に対し、ウクライナ侵攻に抗議し戦争の即時終結と平和の実現を訴える抗議文を提出	
3月5日	「平和・核廃絶に向けたフォーラム」　講師：川崎哲（かわさき・あきら）氏（国際交流NGOピースボート共同代表、ICAN国際運営委員）をはじめ、国内外の11名　主催：パルシステム連合会、ピースボート【オンライン】	366名
3月25日	ピースアクションinオキナワ～第39回沖縄戦跡・基地めぐり～/主催：日本生協連、沖縄県生協連【オンライン】	49生協、539名
3月～４月	「ウクライナ人道危機緊急募金」募集パルシステムグループで1億6,697万5,065円,パルシステム東京で5,799万6,863円寄付	